

第22回全国高等学校少林寺拳法選抜大会 男子自由単独演武の部



大久保 来翼君(3Z2) 優勝

喜びの声

今回の選抜大会で、念願の全国優勝をすることができて、とても嬉しく思います。前回の全国大会であるインターハイでは予選落ちという結果とともに、教えていただいているコーチにも申し訳ないという思いがありましたので、本当に嬉しかったです。次のインターハイに向けてさらに練習を積み、国内2冠を達成したいです。

3Z2 大久保 来翼

盛岡中央高校

PTA会報

MORIOKA CHUO HIGH SCHOOL
The Transaction of PTA

Vol.50

令和元年7月11日
盛岡中央高等学校
PTA会長 千葉 春幸
在校生徒数 770名
TO20-0122
盛岡市みたけ四丁目26番1号
電話019-641-0458
URL <http://www.chuo-hs.jp>

第22回全国高等学校少林寺拳法選抜大会の男子自由単独演武の部にて、大久保来翼君が優勝いたしました。インターハイでは、わずか1点が足らずに予選落ちという結果に終わり、とても悔しい思いがあったであろうと思っております。それでも、インターハイの準決勝、決勝で演武するライバルたちの姿を、コーチとともに研究しながら熱心に見ていたことを覚えております。この姿勢があれば、いかなる結果に繋がるとも思っておりません。

今回の選抜大会の最大の目標は、予選の通過です。自分の演武表現の方向性が合っているのか、評価に値するものなのかを確認し、次に繋げる糧とすることが目的です。そこで、3月23日の前日練習では一つの油断・緩慢も持ち込まないよう、演武会場の床の状態と動きのチェックを行い、演武に支障が出ないように練習し翌日の予選に臨みました。

選抜大会の予選は、自由単独演武参加者84名を21名ずつの4組に分け、各組上位4名が決勝に進出するという形式で行われます。インターハイでは準決勝があり、各組の通過者は上位8名になるため、予選の通過はインターハイよりも狭き門になります。予選

での演武は、いつもと変わらずキレのある良い演武に見えました。その結果は4位で、5位と0.5点差で予選を通過しました。今大会最大の目標である予選の通過を達成したためか、来翼君の表情にも満足感が見て取れました。教師として、目標に向けた努力が実る瞬間を見るのはこの上ない喜びであり、この時は喜びよりもほっとした気持ちになったことを覚えております。

最大の目標を達成したこの時点で、決勝では少しでも内々の良い演武を見せ、入賞圏内の6位をまず目指そうと、残りの少ない時間でも懸命に集中して練習しておりました。

最後の最後まで細部にまでこだわって練習した結果が、決勝では最高点で2人同点になったにも拘らず、正確な演武の評価である技術点の差での優勝に繋がったのだと考えます。今は、インターハイに向けてさらに演武の精度を上げ、足りなかった表現も組み込めるよう練習しております。この、結果を出してもさらに目標に向かって努力を続ける姿勢こそ盛岡中央高校の誇りと思えますし、こういう生徒を増やせるよう、私も努力を続けていく所存であります。

少林寺拳法同好会顧問
中村 祐史

「則天去私」

PTA会長 千葉 春幸

この気温も地球温暖化による気候変化なのか、未だ5月末だというのに30℃を超える暑い春を迎え、皆様いかがお過ごしでしょうか。平素よりPTA活動に多大なるご支援を頂き、衷心より御礼申し上げます。令和元年度PTA会長を務めさせて頂きます千葉春幸です。一年間、皆様のご協力を賜り、新役員と共にPTA活動を運営してまいります。私たちは生きるために衣食住を必要としており、それを手に入れる為に、仕事によって収入を得ています。しかしそれだけでは人間らしい生き方とは言えず、家事や育児はもちろんの事、ひと様のお世話をすることも重要な、人間としての営みの一つです。PTA活動もそのような考え方の延長線上にある社会貢献であると思えます。

私は年のせい最近改めて、夏目漱石が晩年、理想とした心境「則天去私」という言葉に共感しております。天に則り私心を捨てて虚心坦懐、平穏な気持ちで仕事を行い、日々を過ごさず。

そしてPTA会員の皆様と共に、盛岡中央高等学校に集う生徒の為にPTA活動を積極的に推進していきたいと考えております。一年間宜しくお願い致します。

「躍進する中央高校」

校長 千葉 研二

保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に對しまして、ご理解ご協力、ご支援をいただきまして、お礼申し上げます。ことに衷心より深く感謝申し上げます。

さて、本年度も既に三ヶ月が経過しました。四月六日の入学式に二百九十八名の新入生を迎え、全校生徒七百七十二名でスタートいたしました。学習合宿、高校総体、六月考査、体育大会と慌ただしい日程でありましたが、お子様方は文武両道をめざし本当によく頑張っております。

張っております。本年はうれしいニュースで始まりました。三年生の久保来翼君の少林寺拳法全国選抜大会優勝、二年生の伊藤ふたばさんのボルダリングワールドカップでの上位入賞、そして卒業生の小林陵侖君のスキージャンプワールドカップ総合優勝、東北福祉大ゴルフ部の米澤連君のアジア大会金メダル、プロゴルフダイヤモンドカップでプロに交じって堂々の2位と躍進する中央高校を象徴する活躍は正に快挙であり本校にとって大変な名誉、誇りであります。

全校生徒の皆さんが大いに刺激を受け、それぞれの夢の実現に向かって大志を持って、世界と未来に羽ばたくよう成長して欲しいと願っております。教職員一同、全力を持って令和の時代の新たな歴史を創るべく取り組んで参りますが、重ねて保護者の皆様のご理解とご協力、ご支援をなにとぞよろしくお願い致します。

グローバルリーダー育成研修

AUS, アデレード (平成30年3月7日～21日)

2年Z2組 高橋 那純



現地の学校では、バディが優しく声をかけてくれて、一緒にリセスとお昼ご飯を食べたり、遊んだりしてとても楽しかったです。先生がゆっくりで簡単な英語で話してくれたのでほとんど理解することができました。私は大きな声で伝えるように話をしたり先生の話に反応して、分からない所は質問をして、コミュニケーションをたくさんとることを心がけました。現地の授業は、オーストラリアのことがたくさん学べてとても楽しかったです。積極的に授業に参加することが大事だと思いました。先生に「あなたに教えることができていると嬉しいですね。」と言われた時はとても嬉しかったし、もっと英語を学びたいと思いました。ほかにも「あなたの笑顔は素敵だね。」と言われた時には、笑顔がとても大切なのだなと思いました。この研修を通して、文化の違いとコミュニケーションをとることの難しさを知ることができました。これからはよりグローバルな視野を持って生活していきたいです。

今回の研修が成功したのは、様々な人たちの協力があったからであり、僕は特にホストファミリーに感謝したいです。日本では、味わうことのできない体験をすることができたのはホストファミリーのおかげです。デヴィッド・ダグラス高校でも貴重な経験をたくさんしました。外国の生徒や日本の学校とは違うルール・授業にふれてとても新鮮で日本とは何か違う事にびっくりしたけれど、外国の生徒たちや先生たちが気軽に接してくれて嬉しかったです。このような経験をさせてくれたからこそ、外国の方と話すことに対する恐怖心は前より無くなったと思うので、機会があれば、外国の方と話して、力をつけていきたいです。グローバル人材を目指して頑張ります。



U.S.A.オレゴン州ポートランド (平成30年3月5日～18日)

2年S2Z組 武部 栄樹

今回のアメリカ研修で、グローバル人材に必要な力というのは英語だと感じました。僕は、英語力とは、コミュニケーション能力やその場に応じた適応力なども含まれたものではないかと思っています。研修中、英語だけでうまく伝えることができず身振り手振りをして伝える場面がありました。また、環境に適応することによって、心に余裕が生まれました。このことから、コミュニケーション能力や適応力も必要だと感じました。僕が研修中に最も喜びを感じた瞬間は、相手が話す内容を完全にではないが聞き取ることができ、英語を聞き取る力がついてきていると感じたときでした。最初の頃は焦ってしまい気が動転してしまう場面が多々あったけれど、日が進むにつれて、落ち着いて相手の話を聞くことができました。このことは、自信につながりました。

今回の研修が成功したのは、様々な人たちの協力があったからであり、僕は特にホストファミリーに感謝したいです。日本では、味わうことのできない体験をすることができたのはホストファミリーのおかげです。デヴィッド・ダグラス高校でも貴重な経験をたくさんしました。外国の生徒や日本の学校とは違うルール・授業にふれてとても新鮮で日本とは何か違う事にびっくりしたけれど、外国の生徒たちや先生たちが気軽に接してくれて嬉しかったです。このような経験をさせてくれたからこそ、外国の方と話すことに対する恐怖心は前より無くなったと思うので、機会があれば、外国の方と話して、力をつけていきたいです。グローバル人材を目指して頑張ります。



▶2018年(H30年度)海外姉妹校帰国報告会

昨年度、中央高校姉妹校派遣生徒16名と学校外でのいわでの地域国際人材育成事業中国雲南省派遣生徒2名、高校生短期訪中事業派遣1名の生徒が海外研修の報告を全校生徒に向けて行いました。国際交流委員長3Z1下川原綾乃さん3B吉田尚生さんの司会で、派遣された生徒がパワーポイントで研修の目的や成果、文化の違いなどを発表しました。また、CHUO国際教育フォーラムのテーマや概要の発表、ホームステイ募集の呼びかけを先輩が行いました。

〈参加生徒〉

タイ姉妹校留学 (1年)		姉妹校 フランス (引率: 糸井真一)	
3Z1	小山 満喜	2S2Z	兵沢 風羽汰
3Z1	畠山 暉大	3S2Z	鈴木 なつみ
姉妹校 アルゼンチン (引率: 佐々木幸恵)		3Z1	下河原 綾乃
2S2Z	鎌田 朋乃加	姉妹校 マレーシア (引率: 佐々木美咲)	
2S2Z	須賀 光	3S2Z	石川 結
3S2Z	小林 陶子	3S2Z	竹澤 舜
3Z3	野崎 桃子	3S2Z	堀合 緋真梨
姉妹校 ベトナム (引率: 佐藤律子)		平成30年度いわでの地域国際人材育成事業	
3S2Z	大下 透湖	3S2Z	山本 航太郎
3S2Z	高田 莉子	3S2Z	佐藤 翔哉
3S2Z	吉田 舜汰	平成30年度高校生短期訪中事業	
3Z1	森谷 董	3S2Z	田中美鶴

▶新姉妹校紹介

Impington Village College インピントン・ヴィレッジ・カレッジイギリス、ケンブリッジにある男女共学の中等教育学校で生徒数1200名ほどの学校です。1939年創立の歴史ある学校で、英国では珍しく日本語が学べる授業があります。世界30国籍以上の生徒が在籍し、国際色豊かな学校です。

フォーラム
予告Think Globally and Act Locally
—Transforming our world using SDGs

—地球規模で考え、地域に貢献しよう。—SDGを活用し世界を変えよう

21st FORUM WEEK SCHEDULE

- 8月25日(日) 海外生徒盛岡着
- 8月26日(月) 歓迎会、クラス体験
- 8月27日(火) フィールドワーク、わんこそば
- 8月28日(水) 生徒研修、茶道浴衣体験
- 8月29日(木) 生徒研修
- 8月30日(金) リハーサル、教員交流会
- 8月31日(土) 第21回CHUOフォーラム
- 9月2日(月) 帰国



ホストファミリーになろう

募集期間

- ①第21回CHUO国際教育フォーラム
2019年8月25日～9月2日(約50名)
- ②日本語研修
2020年1月下旬～2月上旬(約15名)

受け入れ国(予定)

- ①第21回CHUO国際教育フォーラム: オーストラリア、ベトナム、中国、マレーシア、ニュージーランド、タイ、カナダ、インドネシア、フランス、セネガル、アルゼンチン、ベルギー、フィンランド、台湾、ロシア、韓国、英国
- ②日本語研修: インドネシア、タイ

協力金&サポート

- ①協力金 1日あたり3,500円を支給します。(例: 3,500円×8泊9日=31,500円)
- ②交通費 通学にかかる留学生分の交通費を支給します。
- ③その他 必要に応じて学校スタッフがサポートします。

Q & A

- ①Q: 食事はどんなものがよいですか。
A: ご家庭の普段の食事でOKです。(例) ご飯、味噌汁、卵焼き
- ②Q: お弁当は必要ですか。
A: お願いします。用意できないときは買ったものでもOKです。
- ③Q: 一人部屋が必要ですか。
A: いいえ、必要ありません。お子様と共有でもOKです。
- ④Q: 布団やベッドが足りませんか。
A: 必要な場合は学校が貸し布団を手配します。

スキージャンプW杯 個人総合優勝 小林陵侑選手(平成26年度卒) 優勝報告会及び龍澤学館理事長特別表彰

5月9日(木)本校体育館にてスキージャンプW杯個人総合優勝優勝報告会及び龍澤学館理事長特別表彰が行われました。今回の報告会には小林選手がスキージャンプW杯での声援に対し後輩、恩師、保護者など皆様方に直接感謝をお伝えしたいという申し出から実現され、当日は高校生、中学生全校生徒・教職員・関係者約1000人近くが参加いたしました。

小林選手は「何事に対しても失敗を恐れずにチャレンジしてほしい」・「チャレンジしなければ何も始まらない」と自分の思いを後輩たちに伝えました。また、報告会終了後にクライミングで2020東京オリンピックを目指す、2B2組の伊藤ふたばさんに直接会って、試合前のルーティーンや緊張感の克服の仕方など、これから世界で戦う後輩にアドバイスと激励をしました。伊藤さんは世界で活躍する先輩からの言葉に、2020東京オリンピックに対する決意を新たにされた様子でした。



カナダ修学旅行を終えて

3B 高橋 優羽

修学旅行は初めてのことが多くて、まず第一に日本から出るのも飛行機に乗るのも初めての経験でした。

昔から海外が好きで、その反面日本をダサイだとかいって全否定していた時期がありました。日本に帰ってきた今、その頃の自分をとても恥ずかしく思います。初めて日本から出たことによって日本の素晴らしさを改めて実感し、日本のことがもともと好きになりました。カナダにも日本にも良いところ悪いところがあり、実際に自分の目で見ないと分からない部分が多いので、高校生という早い段階でそのことに気づけて良かったです。

ホームステイでは、文化の違いを感じることも多々あり、正直とても辛かったです。何より一番辛かったのは食です。カナダでは普通なのかもしれないけれど、日本人の私からしたらきょうきょうすぎたえきれませんでした。『おいしさ』よりも『空腹を満たす』ことを優先に考えている気がして、ご飯の時間がとても苦痛でした。日本食最高!!

私のホストマザーが美容関係の仕事をしているらしくて、髪の毛は三日に一回しか洗わないと言われました。信じられませんが、マザーの言う通りにしたけど、やっぱり毎日洗いたいですよね。髪の毛にダメージがあったとしても。おんせん最高!!

カナダでバスに乗ったのですが、来る時も下りる時も大きい声でセンキューと言っていたし、お店に入っても店員さんが笑顔であいさつしてくれて、そこから日常会話をしたり、とてもくだけた関係で良い気分になれる国だなと思いました。接客中にガム噛んだり、それが普通って楽しい国ですよ、ほんと。

自分の英語力を一回ためしたいと思っていて、今回ためすことができたので、これからの英語の勉強の課題点もわかりました。いっぱい買い物できたし、色んな経験ができて良かった。時差ボケ大変だけど楽しかった!!



文化部 活動報告

【家庭部】

毎週月曜日の放課後、家庭科室で『お菓子作り』を中心に活動しています。他に『さんさ・フौरラム浴衣着付け』、『手芸の出前講座』も行っています。昨年は北厨川児童センターで『ミサンガを作るうー』を、盛岡イオンモールで『モールで動物を作ろう!』の2講座を開催しました。

で参加し、6戦4勝しました。目下、11月に行われる Keiichi Cup に向けて練習中です。

【囲碁将棋部】

●第43回全国高等学校囲碁選手権大会
個人戦Aクラス
3S22 菊池蒼... 4戦4勝0敗で優勝
全国選手権大会、全国高総文祭出場決定

【合唱部】

新年度に入り、1年生部員が4名入部しました。それまで部員数の不足に悩まされてきましたので、新入部員たちの存在は心強いです。現在コーチの指導のもとで、全日本合唱コンクール岩手県大会出場に向けて、課題曲の練習を進めております。

【茶道部】

昇龍祭での来客、夏の学校見学会で中学生、CHUO国際教育フォーラムで、海外のお客様にお手前を披露し、お茶を楽しんでいただいています。

茶道部OBやお茶の先生に毎週指導してもらい、初心者でも和の心得を学ぶことが出来ます。日々お茶のわびさびを感じながら作法の習得に努めています。

【ディベート同好会】

部員12名で週2〜3度の頻度で放課後練習しています。2019年5月11日に盛岡第一高等学校で開催された第一回岩手県英語ディベートFRに二チーム(二チーム4名)



高総体結果

【男子ソフトボール部】

決勝
盛岡中央24-0福岡・金ヶ崎連合(5回コールド)
●5年連続6度目の優勝
●第45回東北高等学校ソフトボール選手権大会
1回戦



盛岡中央21-3青森県代表五所川原農林高校(5回コールド)
準決勝・決勝 雨天中止により四校同時優勝
インターハイ出場

1回戦
盛岡中央7-0一関二
2回戦
盛岡中央2-14千厩
ベスト16

【体操部】
個人 総合優勝
高橋 響(2A1)
種目別 全種目優勝
高橋 響(2A1)



【男子柔道部】

男子団体戦
3位
須藤駿(3B)・鳥居裕成(3A2)・佐藤和暉(3B)・勝田時成(2B2)・斉藤翼(2B2)・菊池進太郎(2B2)・今野蒼馬(2B2)
男子個人戦
73kg級 2位 山崎寛樹(2B2)
73kg級 3位 岩沼唯翔(1A2R)



81kg級 3位 今野蒼馬(2B2)
100kg級 優勝 鳥居裕成(3A2)
100kg級 3位 勝田時成(2B2)
100kg超級 優勝 須藤 駿(3B)
100kg超級 2位 斉藤 翼(2B2)

【女子柔道部】

女子団体 3位
先鋒 沼端柚有莉(2B1) 中堅 市川妃奈(1B2) 大将 三浦萌子(2B2)
女子個人戦
48kg級 5位 押切ひなみ(1B2)
57kg級 2位 沼端柚有莉(2B1)
1回戦 市川妃奈(1B2)
63kg級 3位 三浦萌子(2B2)
70kg級 3位 佐々木里穂(3A1)



【硬式テニス部】
男子シングルス
篠村共陽(3Z2) 1回戦敗退
松田優斗(1Z2) 2回戦敗退
女子シングルス
準優勝 紺野木葉(1B2)

女子ダブルス
紺野木葉(1B2) 江藤琉稀(3A1) ベスト8
男子団体
1回戦 盛岡中央2-1水沢第一
2回戦 盛岡中央1-2岩手
1回戦 盛岡中央1-2盛岡南

【ソフトテニス部】

男子
1回戦 盛岡中央1-2花巻北
女子
1回戦 盛岡中央2-1一関高専
2回戦 盛岡中央0-2花巻東



【サッカー部】
盛岡中央1-一関学院
不戦勝
3回戦 盛岡中央1-0盛岡誠桜
準々決勝 盛岡中央0-1盛岡商業
ベスト8

【卓球部】

男子〈学校対抗〉
1回戦 盛岡中央0-3宮古工業
女子〈学校対抗〉
1回戦 盛岡中央0-3花北青雲

【ハンドボール部】

1回戦 盛岡中央25-28盛岡一

【男子バレーボール部】

2回戦 盛岡中央2-0大東
3回戦 盛岡中央0-2盛岡南
ベスト16

【女子バレーボール部】

1回戦 盛岡中央1-2久慈東

【バドミントン部】

男子団体
1回戦 盛岡中央0-3水沢第一
女子団体
1回戦 盛岡中央1-3大槌

【バスケットボール部】

【男子】
1回戦 盛岡中央55-68久慈工業
2回戦 盛岡中央58-37岩泉
3回戦 盛岡中央58-109盛岡四

【女子】

【剣道部】
男子個人戦
永田遼河(3Z2) 2回戦敗退
佐々木愛斗(2Z2)

1回戦敗退 山岸晴希(1Z3)
1回戦敗退 村井祐輝(1A1)
1回戦敗退 吉田光斗(1A1)
1回戦敗退 濱田真衣(3Z1)
2回戦敗退 金野琴音(3Z1)

【野球部】

●第66回春季東北地区高等学校野球選手権大会盛岡地区予選
1回戦 盛岡中央20-1盛岡北(5回コールド)
代表決定戦 盛岡中央0-10盛大附属(5回コールド)
敗者復活戦 盛岡中央12-2盛岡誠桜(6回コールド)
代表決定戦 盛岡中央7-0盛岡工業(7回コールド)

【ゴルフ部】

●第21回岩手県ジュニアゴルフ大会
少年男子の部 優勝 田中 樹(2A2)
少年女子の部 優勝 斎藤桃子(1A2)

●第71回岩手県総合体育大会硬式野球競技 兼 第66回春季東北地区高等学校野球選手権大会
1回戦 盛岡中央3-14一関学院

教職員紹介

クラス

氏名
担当教科
担当クラブ

★は新任の先生
◎はコース長

◎
2S2Z正
佐々木 幸恵
外国語
バレーボール

★
2S2Z副
菊池 亨
地歴公民
囲碁・将棋

2S2Z正
小笠原 典子
外国語
茶道・テニス

1S2Z副
高橋 勝弘
理科
囲碁・将棋

1S2Z正
田村 祐太
数学
バスケットボール

★
1S2Z副
八重樫 直人
外国語
(ディベート)

1S2Z正
玉山光典
理科
科学

3S2Z副
菊地 龍幸
外国語
写真・ビデオ

3S2Z正
小笠原 正浩
数学
アイスホッケー

★
3S2Z副
佐藤 由季也
外国語
スキー

3S2Z正
佐藤 律子
国語
芸術

2S2Z副
糸井 真一
理科
剣道

特進選抜S2コース

22Z正
中村 祐史
理科
少年拳法同好会

22Z副
山崎 元
地歴公民
応援・チアダンス

22Z正
梅木 翔太
数学
ソフトテニス

★
123副
清田 脩弥
地歴公民
剣道

◎
123正
朝日田 光晴
理科
卓球

★
122副
田村 琢郎
理科
バドミントン

122正
齊藤 綾子
外国語
軽音楽

121副
佐々木 恵
国語
さんさ同好会

121正
岩淵 城
国語
バスケットボール

特進Z2コース

3Z3副
熊倉 秀紀
外国語
(応援・チアダンス)

3Z3正
柴田 大心
数学
ゴルフ

3Z2副
高橋 亨
地歴公民
ゴルフ

3Z2正
岩崎 聡史
数学
フオサル同好会さんさ同好会

3Z1副
高松 博明
数学
合唱

3Z1正
小西 周平
国語
吹奏楽

2Z2副
伊東 雄一
地歴公民
スキー

2A2R副
熊沢 直哉
保健体育
スケート

2A2R正
佐々木 美咲
外国語
卓球

2A1副
山田 智
理科
陸上競技

2A1正
中村 祥希
数学
サッカー

★
1A2R副
大下 美優
外国語
芸術

1A2R副
及川 満洋
保健体育
ソフトボール

1A2R正
石川 圭一郎
地歴公民
テニス

◎
1A1副
藤原 陽子
家庭
家庭

1A1正
片岡 慧祐
数学
バスケットボール

進学選抜Aコース・進学留学期Bコース

◎
2B1副
杉田 陽子
保健体育
ハンドボール

2B1正
長澤 英胤
芸術・保健体育
柔道

★
3A2R副
神 隼人
国語
ソフトテニス

3A2R正
小林 雅史
外国語
ソフトボール

3A1副
氷見 浩一
国語
(ソフトテニス)

3A1正
村上 成也
数学
テニス(茶道)

進学総合B1コース

事務

大友 かほる

馬場 五十夫

1B
中嶋 尚樹
外国語
バレーボール

1B
小原 祐一
保健体育
サッカー

1B2副
松野 勝彦
情報
硬式野球

1B2正
加藤 操
理科
バドミントン

★
1B1副
齊藤 匡郎
国語
合唱

★
1B1副
中森 淳
数学
吹奏楽

1B1正
本間 崇朗
地歴公民
硬式野球

橋本 直樹

栃澤 朗子

3B副
米澤 守
地歴公民
硬式野球

3B副
川手 祐輔
地歴公民
ソフトボール

3B正
北川 貢
保健体育
陸上競技

2B
中野 浩
情報
バレーボール

2B
久保田 豪
保健体育
柔道

2B2副
門前 直樹
外国語
ハンドボール

2B2正
村田 大
保健体育
サッカー



2019年度入試合格実績

東北大学・北海道大学 合格! 国公立大学合格80名!!

合格の秘訣は「自ら学ぶ力」

2019年度入試では、東北大学、北海道大学、筑波大学、慶應義塾大学、早稲田大学、明治大学などの難関大学をはじめ、国公立大学に80名が合格することができました。

これらの土台となるのが本校の「自ら学ぶ力」です。SGH(スーパーグローバルハイスクール)アソシエイト校として4年。社会課題に対する関心や教養、コミュニケーション能力、問題解決能力を身につけ

たグローバルリーダーの育成を目指した様々な取り組みが、生徒の学びにつながってきています。

グローバル化や少子高齢化の進展、AIの進化など、社会環境の変化に対応するため、知識・技能はもちろん、生きていくために必要な「自ら学び、社会課題を探究し、正解のない問いに対して解決の道を切り拓く力」を養う自己研鑽と不断の努力が合格の秘訣であったと考えます。(進路指導課長/佐々木恵)

国立大学	52	私立大学	257	国際武道大学	1	神奈川大学	1	海外進学	2
北見工業大学	4	札幌大学	1	城西国際大学	2	神奈川工科大学	1	マヒドゥン大学(タイ)	1
北海道大学	3	札幌学院大学	2	清和大学	1	関東学院大学	1	テンプル大学(東京)	1
弘前大学	5	函館大学	2	千葉商科大学	1	湘南工科大学	1	海外進学計	2
岩手大学	18	北海道医療大学	1	帝京平成大学	2	フェリス学院大学	4		
SGU 東北大学	1	酪農学園大学	3	亜細亜大学	2	横浜商科大学	1	公立短大計	7
秋田大学	3	青森大学	4	桜美林大学	1	松蔭大学	3	私立短大計	6
山形大学	1	八戸工業大学	5	学習院大学	2	横浜薬科大学	1	短期大学計	13
福島大学	1	弘前学院大学	1	北里大学	2	帝京科学大学	1	県立専門学校	9
茨城大学	1	青森中央学院大学	1	共立女子大学	1	山梨学院大学	1	医療系専門	20
SGU 筑波大学	1	岩手医科大学 医学部医学科	1	杏林大学	2	名古屋商科大学	1	一般専門学校	93
宇都宮大学	2	岩手医科大学	14	SGU 慶応義塾大学	1	SGU 京都先端科学大学	1	専門学校計	122
SGU 千葉大学	1	富士大学	3	工学院大学	1	同志社大学	3	公務員	2
電気通信大学	2	盛岡大学	36	國學院大学	2	立命館大学	1	民間就職	17
一橋大学	1	岩手保健医療大学	4	国士館大学	2	近畿大学	1	就職計	19
新潟大学	3	石巻専修大学	3	駒澤大学	1	神戸芸術工科大学	1		
SGU 金沢大学	1	仙台大学	2	実践女子大学	2	帝塚山大学	1		
福井大学	1	東北学院大学	26	芝浦工業大学	6	私立難関大学計	16		
信州大学	1	東北工業大学	4	順天堂大学	1	<small>※早慶上理・GIMARCH・関関同立の数です。</small>			
鳥取大学	1	東北福祉大学	16	成蹊大学	1	スーパーグローバル大学計	24		
島根大学	1	東北医科薬科大学	4	専修大学	2	<small>※SGUはスーパーグローバル大学の数です。</small>			
公立大学	27	仙台白百合大学	1	多摩大学	1	医学部医学科計	1		
公立はこだて未来大学	1	東北文化学園大学	3	帝京大学	2	四年制大学計	337		
札幌市立大学	1	ノースアジア大学	1	東海大学	4	<small>※大学合格には選考・単位制の人数を含みます。</small>			
釧路公立大学	2	いわき明星大学	1	東京経済大学	1				
岩手県立大学	13	奥羽大学	2	東京工科大学	1				
秋田県立大学	2	国際医療福祉大学	4	東京農業大学	4				
SGU 国際教養大学	1	自治医科大学	1	東京理科大学	4				
高崎経済大学	2	白鷲大学	9	東洋大学	3				
首都大学東京	1	城西大学	2	SGU 日本大学	4				
長岡造形大学	1	東京国際大学	2	日本社会事業大学	1				
都留文科大学	3	獨協大学	2	SGU 法政大学	1				
国立大学校	1	明海大学	1	SGU 武蔵野大学	1				
防衛医科大学校	1	尚美学園大学	2	SGU 明治大学	2				
国公立大学計	80	日本医療科学大学	2	SGU 早稲田大学	2				

編集後記

「平成」が終わり、「令和」がスタートしました。AIが発展し、様々な変化が予想されるこの令和の時代に対応することができる人間になるため、高校時代に多くを学び、吸収してほしいと思います。

今回も、生徒達の活動を中心に作成してみました。今後も更なる活躍を期待しています。

自転車安全モデル校に指定

今年度本校が自転車安全モデル校に指定されました。5月13(月)に岩手県西警察署の阿部署長はじめ、交通課の方2名に来校していただき、指定書を高橋春人生徒会長に授与頂きました。

ここ数年、本校は他校に比べ比較的自転車の事故は少なく、幸い重大な事故も発生していませんが、モデル校にも指定されましたので、さらに生徒へ注意を促したいと思います。ご家庭でもご指導のほどお願いします。

生徒指導課長 高橋 亨



合同入学式挙行

4月6日土曜日、平成最後の入学式がマリオス大ホールで挙行されました。今回は昨年度開校した附属中学校と初めての合同入学式でした。新高校生のみならずさらに初々しい新中学生の姿に、フレッシュ感あふれる新時代にふさわしい入学式となりました。

入学許可では、担任から呼名を受けた新入生298名はこれから始まる高校生活に対する大いなる夢と決意を込めて大きな声で返事をしていました。千葉研二校長は式辞のなかで、「これまで本校を巣立った同窓生は約13,000名を数え、国の内外においてめざましい活躍をされています。特にスキージャンプワールドカップで小林陵侑君が見事総合優勝しました。新入生の皆さんも一人ひとりがめざす世界のチャンピオンとなるべく、今日この日の熱き思いをいつまでも忘れずに持ち続けて欲しいと願っております。」と、無限の可能性に果敢に挑戦する期待を述べました。また、新入生代表の山口雪海さん(1S21)は、「本校の国際交流などを通し未来の社会を担う一員としての自覚を持って学んでいきたいです。」と力強く宣誓しました。